

連載⑤

# 医者も知らない平穏死



「元気なうちから家族 図が理解できない人も  
と終末期のことを考え 結構おられました。  
ておきましょう」と、「将来もし口から食べ  
講演会でよく話しま ならなくなったらどう  
す。」

先週、ある程度会話 鼻や胃から管を入れて と聞けば「そうやね  
ができる認知症の人20 そこから栄養とるか ?」と聞いても「そう  
人に、もし口から食べ ?」

工業養の是非について それ、してくれ」とす いが上手なので、質問  
聞いて回りました。 <返ししました。>とこ の意図を理解できずに  
反応はさまざま。全 が家族によれば、「こ 生返事をしてるので  
員がNOと思

いきや、「絶 対に嫌や」と 認知症の人には取り締  
即答した人は 聞かなくていい、認 知症の人との会話  
たった3人で した。多かつ の特徴です。

## 認知症の人に 終末期について 聞いてみた

たのは、「そんなこと の人は元気なころ、 質問」と感じていたこ  
は、その時にならんと <延命治療だけはやめ と。「なんでそんな  
分からん」あるいは てくれ」が口ぐせだっ とを聞くんや」と怒っ  
「先生にお任せする たんで、質問の意味が た人もいました。  
わ」。さらに、世間話 分からずるに答えてるん 認知症の人の自己決  
は可能でも、質問の意 や。「そうする?」 定能力をどのように評  
価するかは、とても難  
しい課題。一度決めて  
も、すぐに答えが変わ  
るケースも珍しくあり  
ません。だからこそ、  
やっぱの、「元気なう  
ちから」が重要だと思  
うのです。



△長尾和宏△長尾ク  
リック院長。日本  
尊厳死協会副理事  
長。著書に『平穏  
死』10の条件」など。